

B
2

大阪

今宮町から始まった大騒乱

平常の得意先でなければ
米は売りません

なり
成郡今宮町から始まりました。9日の朝、同町字木津の広岡ふじえ米穀店は、店頭に5石の白米を置いていました。ところが買いにきた者に「得意先の注文なので売れない」と断ったので、付近の者100余名が広岡米穀店を取り巻き、「怨婆を叩き殺せ、家を打ち壊せ」と大騒ぎになりました。その場は、警官が現場に駆けつけたので一応収まりました。今宮町では多くの米屋が「平常の得意先の外は、1升の米も売りません。」と外来のお客を断ったので住民の不満は日増しに高まっていきました。

ついで10日朝も今宮町で、「米は上がっていますよ」と米屋が言ったことがきっかけで、付近の住民と大喧嘩になりかけた米屋がたくさんありました。

また同日、今宮町釜ヶ崎の労働者相手の飯屋

大阪の米騒動は、8月9日に西に始まりました。9日の朝、同町字木津の広岡ふじえ米穀店は、店頭に5石の白米を置いていました。ところが買いにきた者に「得意先の注文なので売れない」と断ったので、付近の者100余名が広岡米穀店を取り巻き、「怨婆を叩き殺せ、家を打ち壊せ」と大騒ぎになりました。その場は、警官が現場に駆けつけたので一応収まりました。今宮町では多くの米屋が「平常の得意先の外は、1升の米も売りません。」と外来のお客を断ったので住民の不満は日増しに高まっていきました。

国民党主催「米価調節 大阪市民大会」から 本格化するのは、
本格化した騒動 大阪で米騒動が
調節大阪市民大会が天王寺公会堂で開かれた8
月11日からです。しかし時間的には、この日
もすでに午後3時ごろから今宮町で米騒動が起
こっていました。

今宮町で「河太郎」(川で鉄くずなどを拾う仕事)を営む住人らが集まり、米の安売り要求の相談をしていました。その集まりで、今宮町の米価が毎日暴騰するのは、米商組合米栄会会長の天正信蔵が自家販売の米価を引き上げているからだ。天正米穀店に米の安売りをさせてから、他の米屋でも安売りをさせようと決めました。午後7時ご



日出前日没後溢りに5人以上集団をなし歩行することを禁ず・大阪府令号外を見る人びと。『図説・国民の歴史』より。

大阪も暴動

演説會の群衆四方に散り

米屋を襲撃して騒がす

『東京日日新聞』8月12日。

格子を木葉みじんに破壊し、喊声をあげて住吉街道に出て行きました。警察の主力は、天王寺公会堂の米価調節大阪市民大会の警備に注がれていたため、このあたりの警備が手薄でした。

25銭の安売りを強制、
売らない店には腰巻き
1つの女房たちがちん入

谷・石田・浜口・

西村・徳田・奥田・吉田の7米穀店を次つぎと
襲い、25銭の安売りを強制しました。25銭で
売らない店には、群衆にまじった腰巻き1つの
女房たちが無理矢理店にちん入し、風呂敷を拡
げて持てるだけの米を量りとて姿を隠すなど
の乱暴を働いたと言われています。関西線の南
から、釜ヶ崎駐在所までの街頭は、野次馬と群
衆であふれかえりました。

午後11時半までに襲われた米商は『大阪朝日新聞』によると、今宮町では天正信蔵・戎谷鶴松・浜口福松・奥田伊三郎・浜口治三郎・山本勝蔵・中西捨三郎・松井次作・正月米吉・奥田のぶ・山尾卯三郎・堀内熊藏・高田藤次郎・藤原幸太郎・徳田留三郎の15軒。天王寺村は、岸田幸次郎・寺内寅吉・中井弥吉の3軒でした。

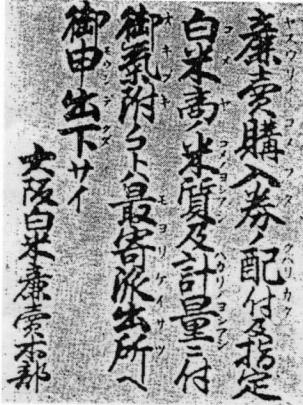
今宮の群衆は10時半ごろには、天王寺公会堂で行なわれた米価調節大阪市民大会から街頭

三千名の大衆團

△米屋を襲ひ米を掠奪する女あり

△米屋を襲ひ米を掠奪する女あり

▲押寄せて米賣の強制



米の廉売

る今宮町釜ヶ崎の住吉街道付近に住民300名が集まり、天正米穀店に向かいました。

天正米穀店に集まった群衆は、「1升25銭で売るのか売らないのか」と強談判を始め、制止にきた警察官にも「何をぬかすか」と一喝をくわせ、警察官の持つ提灯を奪い取って道路に投げつけるくらいでした。危険を感じた天正米穀店は、やむなく40銭に値下げを誓い、さらに30銭となり、午後10時ごろに25銭までに折れたところ、女房たちがバケツ・風呂敷の類を持ちこんで、駆けつけた警察官の前で店の米を買い込みました。「もう1粒も米はございません」と言う米屋に対して「有るかどうか証拠を見せてやろう」と怒鳴りながら、数十名が割木で店

第3章 1918年後半の米騒動B 全国化の第1段階（8月8～）——大阪府

職業別米騒動被検挙者数
(大正7年8月11日～16日、大阪府)

職業	被検挙者数	小計
職工	397	
鍛冶職	68	466
鋳物職	1	
仲仕	117	
日稼	83	
土方	77	
手伝	54	
人力車夫	40	443
大工	38	
船員	15	
左官	10	
荷車引き	9	
店員	2	
官公吏	1	7
会社員	4	
農業	80	
漁業	60	140
八百屋	21	
古物商	7	
魚商	3	34
屑物商	3	
学生	2	
その他	354	704
無職	348	
合計		1,794

(資料) 吉河光貞『所謂米騒動事件の研究』。

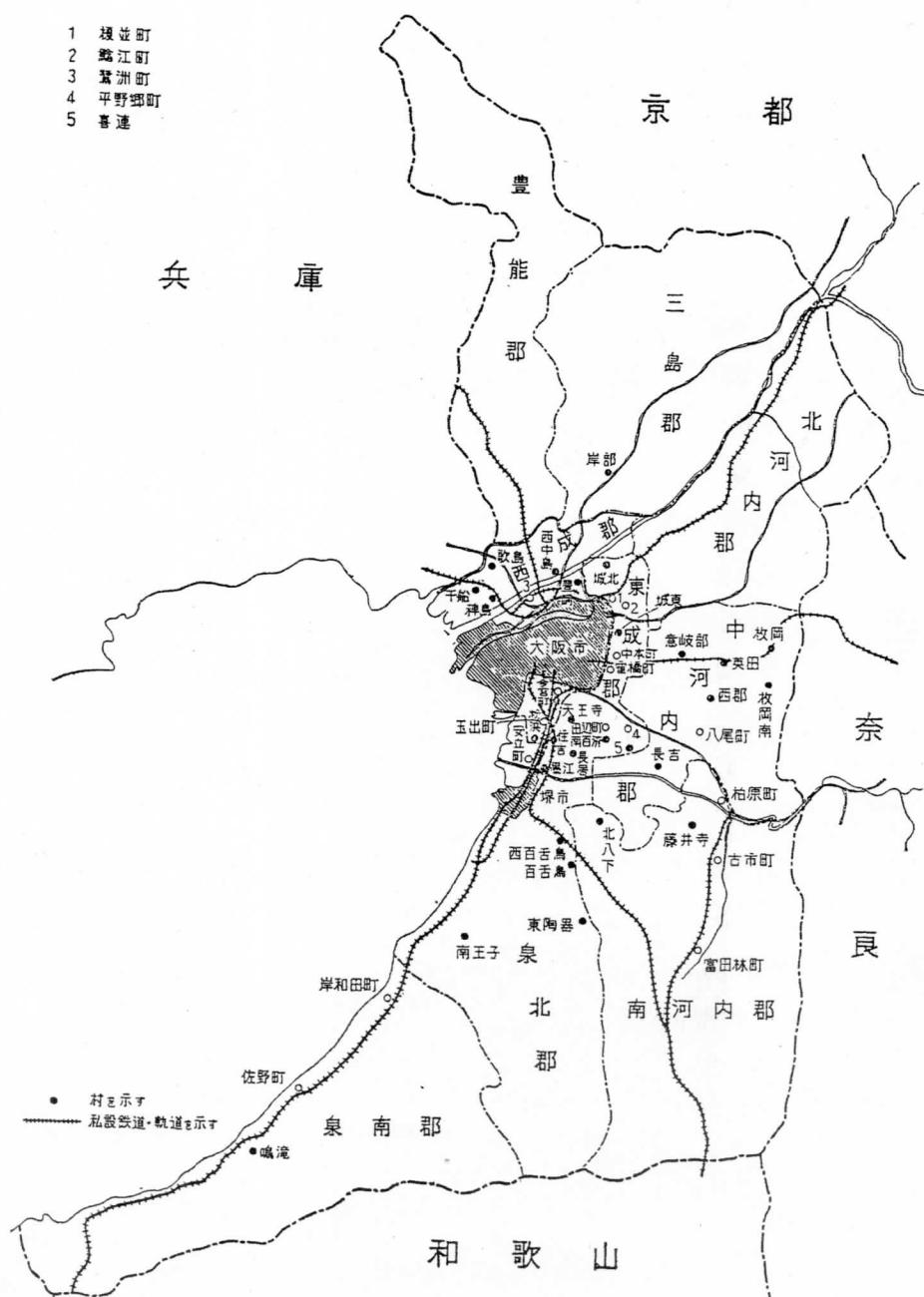
刑法騒擾罪被検挙者数

年次 管轄別	大正 2	3	4	5	6	小計	7		
							被検挙人員	犯罪件数	検挙件数
警察部	4	6	—	—	—	10	—	—	—
大阪水上署	—	1	—	—	—	1	—	—	—
東署	1	1	—	—	—	2	—	—	—
玉造署	—	—	—	—	—	—	17	18	19
西署	31	5	—	—	—	36	7	7	7
九条署	—	—	—	—	—	—	17	17	17
南署	12	2	—	—	—	14	12	12	12
難波署	—	4	—	—	—	4	35	56	56
天王寺署	—	—	—	—	—	—	32	23	27
北署	—	—	—	—	—	—	16	9	26
曾根崎署	2	—	—	—	—	2	67	2	2
市部	50	19	—	—	—	69	203	144	166
鶴橋署	—	—	—	—	—	—	7	10	9
平野郷分署	—	—	—	—	—	—	45	43	43
今福分署	—	—	—	—	—	—	25	25	25
住吉署	—	—	—	—	42	42	58	29	29
十三橋署	—	—	—	—	—	—	18	17	18
伝法分署	—	—	3	—	—	3	22	2	2
柴島分署	—	—	—	—	—	—	3	1	1
堺署	—	—	—	—	—	—	22	8	11
鳳署	—	—	—	—	—	—	8	—	1
福田分署	—	—	—	—	—	—	62	2	2
大津分署	—	—	29	—	—	29	10	3	3
岸和田署	26	—	—	—	—	26	15	4	4
佐野分署	—	—	—	—	—	—	17	3	3
富田林署	—	—	2	—	—	2	—	—	—
古市分署	—	—	—	—	16	16	30	—	—
黒山分署	3	—	—	—	—	3	35	3	3
柏原分署	—	—	—	—	—	—	20	5	5
八尾署	—	—	—	—	—	—	19	1	1
三宅分署	—	—	—	—	—	—	16	—	1
額田分署	7	—	—	—	—	7	28	2	2
郡部	36	3	—	—	58	128	459	158	163
全府	86	22	34	—	58	197	662	302	329

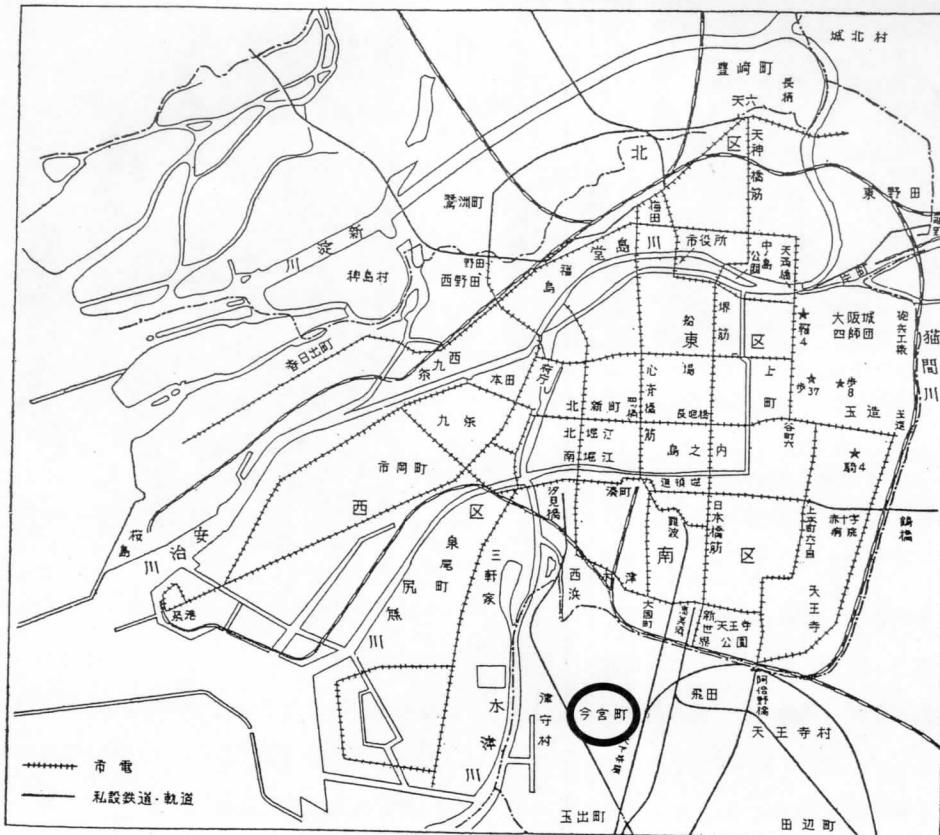
(資料)『大阪府警察統計書』。

(注) 大正2～7年を通じて被検挙者数皆無の所轄署は、市部では川口分署、朝日橋署、郡部では池田署、岡野分署、地黄分署、茨木署、高槻分署、吹田分署、三林分署、尼崎分署、市場分署、長野分署、御厨分署、枚方署、守口分署、四条畷分署、津田分署である。大阪府編『大阪百年史』1968年による。

大阪の米騒動 発生地



井上・渡辺編『米騒動の研究』(有斐閣) の図に補充、修正。
以下、井上・渡辺編『米騒動の研究』の版元は有斐閣です。

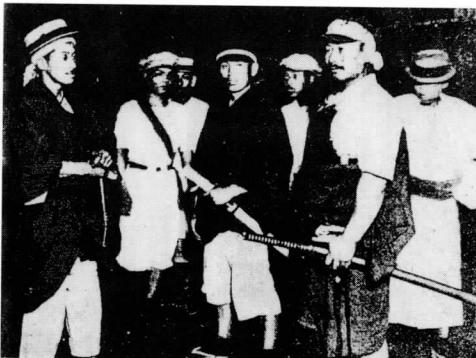


井上・渡辺編『米騒動の研究』による。

に出てきた群衆と南区木津大黒町の電車交差点付近で合流し、さらに氣勢をあげました。住吉街道を南進した隊は、天下茶屋方面に向かいました。道筋にある米屋を片端から叩き起こし、白米の廉売を強要しました。各店とも怖じ氣づいて1升25銭で、1人2升ずつ売り渡しました。群衆はさらに南へ進み、玉出町の米屋を叩き起こして廉売を強要し、12日午前1時半ごろ解散しました。他の1隊も、難波元町1丁目・2丁目の米屋を襲い、同町の木本・前田・津和・鈴木などの米穀店でも廉売を強要されました。



『東京朝日新聞』8月15日。

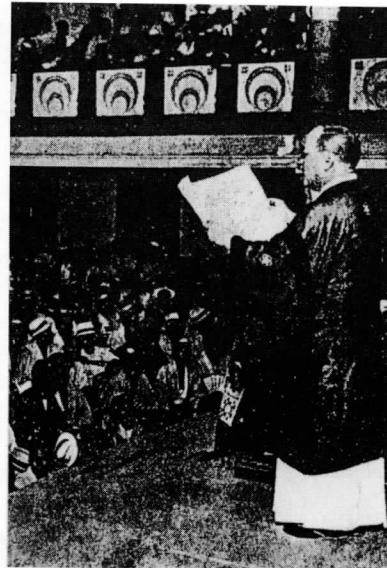


暴動鎮圧に出動した武装在郷軍人 大正7年8月11日夜、大阪にて。『図説・国民の歴史』より。

知事、大阪市長などが外米を売り出す協議をしていた矢先に役らが外米売り出しについて協議していました。また大阪府でも、知事・大阪市長・大阪商業会議所会頭・警察部長・農商務省外米管理部事務官らが協議を行なって、ラングーン米・サイゴン米など10万袋（7万石）を大阪市に供給し、11～12日ごろから売り出すことについていた矢先の出来事でした。

当時、大阪市と大阪市に隣接する接続町村は、第1次世界大戦による大戦景気の好況で人口が急増していました。西成郡南部4町村と東成郡南部12町村をふくむ南大阪はその典型で、西成郡今宮町・玉出町・粉浜村・津守村は、1912年から1920年の間に3万4800余人から8万4800余人に膨張していました。とくに今宮町は、1913年の人口1万1200余人が1920年には4万9000人になっていました。今宮町は1914年に耕地整理も終わり、農村ではなく零細小売商人、行商人が圧倒的な比重を占める都市貧民層の集住地帯となっていました。大阪府の嘱託で、社会事業の中心であった小河滋次郎は、このような接続町村について、「大阪市その

大阪市では、8月9日に池上市長、関・有田両助



大阪天王寺公会堂における市民大会 大正7年8月11日、この市民大会が大阪大暴動の発端となつた。

ものにとっては1つの驚異をなし、その状、あたかもいつ爆発するかもしれない火薬庫を眼前に控えて居る様なもので一種の禍源をなして居る、「大阪にとってこの地域はあたかも危険なる一大火薬庫の何等の防備なくして開放せられてゐるやうなものである」と書いていました。大阪の米騒動は矛盾の集中する、その今宮町から始まったのです。

急速に拡大した騒動に師団が出動。群衆と白兵戦も
12になると、米騒動は急速に拡大しました。大阪市内に騒動が広がり、警察だけでは秩序が維持できないと判断した林市蔵府知事は、午後9時20分に第4師団に対し出動を要請しました。第4師団は12日夜から17日までに9844人を出動させ、米騒動の鎮圧と警戒に当たらせました。憲兵も333人出動させました。大阪市内で騒動があったのは、東区61町・西区52町・南区74町・北区76町の計236町でした。この日は神戸

大阪の1918年労働争議

(ほとんどが賃上げ要求で、米騒動と同様に7～9月に集中していることに注目)

月日	町村名	争議主体	人員	原因・要求、その他	典拠	参考文献
1・4	大阪市西区 阿波堀裏町 2丁目付近	洋傘工	90人	3～5割賃上要求、同盟休業申し合わせ	大阪朝日1.13	大地勞71
1・6	大阪市西区 難波島町	神戸桟橋大阪支店 小蒸気船乗組員	30人	賃上要求交渉	大阪地方労働運動史年表71	
1・*	大阪市	線香職工	110人	賃上要求、スト計画	大阪地方労働運動史年表71	
1・28	大阪市南区	人力車夫		2割賃上要求、警察へ嘆願	大阪地方労働運動史年表71	
2・8	東成郡中本町	万年筆製造工	25人	1割2分賃上要求	大阪地方労働運動史年表71	
2・10	大阪市天満 ・福島	友禅職工		事業主にたいし賃上を要求、各所で協議	大阪朝日2.21	
2・12	大阪市北区 与力町1丁目	出雲メリヤス 工場女工	27人	日給36銭を2割賃上要求スト 〔妥結〕	労働及産業80号	
2・19	大阪市北区 紅梅町	メリヤス職工	200人	3割賃上要求、同意者600人に上る	大阪朝日2.21	大地勞71
2・下旬	大阪市天満 ・福島	友禅職工		3割賃上要求	大阪地方労働運動史年表71	
3・22	大阪市西区 桜島町	大阪鉄工所 鉄錆部職工	2,000人	足場と機械改良その他労働条件改善要求、主導＝小頭〔即日妥結〕	大阪朝日3.23	大地勞72
4・4	大阪港	社船33隻の 下級船員	55人	日本船主同盟に5割増給運動 〔妥結〕	大阪地方労働運動史年表72	
5・1 ～6・9	大阪市北区 西野田・福島	木刷毛工場仕上工	1,000人	1割5分～5割賃上要求、 6月1日スト	労働及産業83号	大地勞72
5・16	大阪市西区 島屋町	住友鋳銅機関部 職工	40人	2割5分賃上がみとめられた かわりに8人が解雇され17日スト	大阪毎日5.18	
6・22	大阪市西区 北岡島町	新堂造船所造船工	1人	賃上要求、工場内の職工部屋へ放火	大阪朝日6.23	
7・31 ～8・3	東成郡 鯨江町今福	川北電気企業会社 仕上・組立・電工(1,300人)	70人	賃上要求、工長排斥、 スト〔不貫徹〕	大阪朝日8.6	大地勞71
8・4	大阪市東区 材木町	石工	421人	1円賃上要求、スト	吉河光貞＝所謂 米騒動の研究	
8・上旬	大阪市西区 九条	九条西警察署巡査	100人	救済要求、数十人病気と称して 出勤せず	大阪朝日8.6	
8・7	西成郡住吉町	東尾絨毯工場職工	23人	賃上要求、スト	大阪毎日8.9	
8・7	東成郡敷津村	藤永田造船所敷津分 工場鉄船部職工(500人)	43人	2割5分賃〔1割5分で妥結〕	大阪朝日8.11	大地勞72
8・8	大阪市南区 松屋町筋	実費診療所医員	16人	5割賃上要求、スト、辞表提出	大阪朝日8.10	大地勞72
8・8	大阪市	大阪監獄看守		賃上嘆願、不穏	大阪朝日8.9	大地勞72
8・10	堺市南瓦町	堺市役所吏員		食料に困り救済要求〔妥結〕	大阪朝日8.10	
8・10	西成郡津守村	津守村役場吏員		村長に増俸要求	大阪朝日8.11	大地勞72
8・12 ～13	西成郡鶯洲町	日本ペイント 会社職工	400人	ストライキ	大阪朝日8.14	大地勞72
8・12 ～13	西成郡 豊崎町長柄	田村友禪工場 友禪工	100余人	ストライキ	大阪朝日8.14	大地勞72
8・15	大阪市	大阪駅荷扱夫	700人	賃上要求、スト	大阪地方労働運動史年表72	
8・15 ～16	大阪市北区	大阪電灯製作所 職工	600人	賃上要求、機械破壊 〔1割～2割で妥結〕	大阪毎日8.17	
8・20	西成郡 神津村今里	大阪電気公社機械部 仕上部職工(350人)	85人	賃上要求、スト〔不貫徹〕	大阪朝日8.22	大地勞72
8・20	西成郡 神津村今里	木本鉄工所鉄工	50人 (又は60人)	賃上要求	大阪朝日8.22	大地勞72
8・25	東成郡敷津町	藤永田造船所敷津 分工場鍛冶工	60人	進水式のさい、賞与金を要求して 事務所へ押しかけ乱闘〔不貫徹〕	大阪朝日8.26、28	大地勞72
9・8	東成郡	阪堺綿紡績女工	36人	重役の横暴からスト、10日男子工 を含む170人に拡大	大阪地方労働運動史年表72	
9・23頃	大阪市北区 野田江成町	プラス工場木刷毛 職工	50人	賃上要求、工場主にたいし 不穏の挙動	大阪毎日9.24	大地勞72
9・26	大阪市北区 野田江成町	藤村機械会社組立 仕揚部職工(530人)	150人	3割賃上要求、28日スト〔不貫徹〕	大阪朝日9.29	大地勞72
10・1	大阪市大阪市 北区中之島	中央電信局員 (636人)	280人 (又は400人)	勤務条件に不満で110～140人 同盟欠勤	大阪朝日10.5	大地勞72
11・15	大阪市 北区西野田	小原鉄工所鉄工	130人	16人が強制休業を命ぜられ、 不当処分訴う	大阪地方労働運動史年表72	
11・22	大阪市	小学校教員		臨時手当の増額要求	大阪地方労働運動史年表72	

青木虹二『日本労働運動史年表』に記載のもの。

大阪の米騒動

日	郡市町村名	内 容	人 員	期 限	出 典
8. 9	西成／今宮町	米商広岡ふじえに対し販売要求、不穏	100人	9~12	大朝8.11、大阪市史1の479
10	西成／今宮町	米商戎谷鶴吉・天正信蔵に米値上反対	数百人	大朝8.11	
11	西成／今宮町、玉手町、天王寺村 大阪市	米商天正信蔵その他に安売要求 市民大会後、各米商に安売要求	数千人	万朝報&13	
	東成／田辺町	空地に屯集、米安売〔解散さる〕	140人	大朝8.12	
	三島／富田村		200人	米研2の33	
	西成／稗島町			豊中市史3の259	
12	西成／今宮町 大阪市	役場に米安売対策要求 米商多数に安売要求	200人	11~12	米研2の33
	東成／鶴橋・中本町	米商多数に安売、市電・米問屋破壊、出兵	数百人	大毎8.13	
	東成／田辺町・南田辺・北田辺	米商に安売要求、出兵	数万人	大毎8.13	
	東成／住吉・墨江村、 西成／粉浜村、安立町	米商・町長宅・町役場・駐在所おそう	数百人	大毎8.13	
	東成／城北村荒生	米商多数に安売要求	200人	米研2の50	
	東成／城東村・鯨江・榎並町	米商中西音次郎方へ投石	数百人	米研2の52	
	東成／平野郷町	米商に安売要求	400人	米研2の52、東成郡誌800	
	堺市	町長・府議宅おそう、出兵	数千人	米研2の53	
	西成／稗島町	米商森下・川上・佐野・葛井・島村方おそう	200人	堺市史3の118、続2の65、大毎8.13	
	西成／鷺洲町	米商7戸おそう	数百人	米研2の64	
	南河内／柏原町	米商田中常次郎方おそう	300人	大毎8.26	
	南河内／富田林町	米商宅破壊	数百人	大朝8.14、柏原市史3の277	
13	東成／住吉・墨江・粉浜村 大阪市	米商宅をおそわんとす〔解散さる〕 逮捕者の釈放要求、出兵〔不成功〕	200人	12~13	大朝8.14
		米商に安売要求、倉庫・金貨おそう、 米店などに放火、出兵、警官・軍隊と衝突	数万人	大朝8.14	
		米商に安売要求、出兵	11~14	大朝8.14	
	堺市	米安売要求〔解散さる〕	数百人	12~14	大朝8.10
	東成／城東村・東鴨野	米商寺脇讓太郎方破壊、放火、騒動倒1人死亡	100人	12~13	東成郡誌800
	西成／千船村・大野・大和田	豪農寺尾喜太郎に米貸与強要	100人		万朝報8.15
	中河内／英田村吉田	米商木下・竹沢宅へ安売要求	80人		米研2の89
	中河内／西郡村北の辻	騒擾	数百人		米研2の90
	中河内／意岐部村	騒擾			大朝8.15
	中河内／長吉村	付近各村より入りこむ〔退散〕	1000人		大朝8.15
	中河内／八尾町	資産家8戸破壊	200人		米研2の91、 渡部徹=大阪府古市町の 米騒動(人文学報)
	南河内／古市町古市				農中市史3の259、 米騒動ニ於ケル大阪憲兵隊 歴史の概要
	豊能／豊中村	米安売、多数集合			農中市史3の259、茨木市史511
14	三島／豊川・岸部村 大阪市	米商・薪炭商に値下要求、出兵	数千人	11~14	大朝8.15
	堺市	米商に値下強制	婦女	12~14	大毎8.15
	泉南／岸和田町	富家寺田甚与茂・寺田見龍宅へ放火、全焼、出兵	数百人		東朝8.18
	泉南／佐野町	米商おそう	200人		吉河140
	南河内／藤井寺村野中	共有財産の分配要求、有力者宅破壊	100人		米研2の115
	西成／西中島村	某家破壊	40人		吉河141
	豊能／箕面村	多数集合			豊中市史3の259
	豊能／池田町	多数集合			豊中市史3の259
	三島／岸部村	多数集合			豊中市史3の259
15	東成／南百濟村	夜警に出てざる村長宅おそう	50人		大毎8.25
	東成／喜連村	地主服部勝次郎方など3戸おそう	数十人		米研2の121、東成郡誌1314
	中河内／枚岡南村四条	資産家横内民藏方おそう	数十人		米研2の127、枚岡市史1の827
	泉北／南王子村	米の貸与要求、放火	数百人		米研2の127、泉州津市年代記24
	西成／西中島村	屯集	50人		豊中市史3の239
	豊能／箕面村牧落	屯集	40人		豊中市史3の239
	西成／鷺洲町	町役場へ押しかく〔解散さる〕	400人		大朝8.19
	泉南／佐野村	村会議員宅おそう、出兵	200人		万朝報8.18
	豊能／池田町	米安売、屯集	70人		豊中市史3の239
	泉北／百舌鳥村梅、 西百舌鳥村赤畠	大地主田中信吾宅おそい、安売強要			大毎12.25
	泉北／東陶器村	児玉銀行頭取西野真太郎宅おそう	500人	16~17	東朝8.18
	泉北／南王子村	米安売強要			万朝報8.18
	泉北／深井村	集団して暴れる	漁民		万朝報8.18
17	南河内／北八下村	米商に米安売強要	70人		大朝8.19
	豊能／小曾根村3軒家	騒動	50人		豊中市史3の259
	豊能／豊津村北ノ町				豊中市史3の259
18	東成／長居村寺岡	村民大会後村長宅おそい放火	200人		福岡日日8.11
	東成／道明寺村	不穏	100人		福岡日日8.11
	三島／岸部村少路	米安売要求	120人		豊中市史3の239
	中河内／枚岡村	米安売要求	数百人		大朝8.22
	三島／岸部村少路	米安売要求	100人		大朝8.21
	泉南／鳴滝村	米安売要求	数百人		大朝8.21
	豊能／中豐島村服部		30人		豊中市史3の259
20	三島／吹田町西ノ在		30人		豊中市史3の259
23	西成／歌島村	家賃値下げの運動	20人		大朝8.24

おねがい

本書に掲載の図、および写真の一部に、種々探しましたものの、著作権者が不分明なものがございました。お知りの方および著作権者の方がおられましたら、ぜひ、小社編集部までお申し出下さるようおねがい申しあげます。

図説 米騒動と民主主義の発展

初版第1刷発行 2004年12月1日

編 者 歴史教育者協議会

監 修 井本 三夫

編集委員 岩本 努、駒田和幸、戸川 点

発行人 沢田健太郎

発行所 株式会社民衆社 東京都文京区本郷4-5-9-901
電話 03 (3815) 8141 / FAX 03 (3815) 8144

印刷 飛来社 製本 光陽メディア

ISBN 4-8383-0913-9 C3021